

和田 牛乳パック灯籠作り

7月9日、和田校区の伊佐智佐神社で六月灯が行われた。毎年子どもたちは友だちや家族と連れ立って行くのをとても楽しみにしている。

主催が校区コミュニティ協議会となり、あいご会も何らかの形で協力したいと役員で案を出し合い、誰もが出来るものを第一に考え「牛乳パック灯籠」の製作が決まった。

土日を利用して校区公民館にてワークショップを開催。一番の難所で面白い部分でもある表面の印刷面を剥がす作業では、剥がれていく度に歓声が上がった。完成した灯籠内にLEDキャンドルを入れると、浮かび上がった模様に当日への期待が膨らんだ。

当日、60個の灯籠を境内の階段に並べると、夕日が差し込み、階段は様々な色で彩られた。日没後は、暗闇にキャンドルのほのかな光が幻想的に映し出され、来場者からもお褒めの言葉を頂いた。地域と繋がった活動となった。

【和田校区あいご会長 柿元 まり子】



原良 鬼火焚き

本年1月、地域住民と小学生の交流を目的に『鬼火焚き』を行いました。小学校の校庭で行われる鬼火焚きが伝統となっており、コロナ禍により中止されていた甘酒や餅の振る舞いも行いました。

地域住民が自宅の正月飾りを持参する様子や、点火式で町内会代表の児童と町内会長等が協力して点火を行う様子は、交流や絆を感じられる瞬間となりました。

参加した小学生からも、『怖かったけど、町内会長さんの声かけやサポートで頑張れた。』との感想もありました。

振る舞われた、甘酒や餅はあっという間になくなり、笑顔溢れる和やかな雰囲気の中、大成功を収めました。

消防団、先生方、地域のボランティアなどに支えられてイベントが開催され、繋がっていく素晴らしさを改めて感じ、感謝しております。

【原良校区有志あいご会コーディネーター 宮元 加代】



みんなが楽しむあいご会

楽しいことが何よりです

鹿児島市あいご会連合会は「みんなが楽しむあいご会」をスローガンに掲げています。子どもも大人も楽しむあいご活動が各地で展開されています。楽しむことが一番です。



川上 魚さばき体験

タコやカツオのさばきのデモンストレーションをとおして、興味がより一層増した。その後、自分でさばいてみるという体験を行い、「また、さばきたい」という声が聞けた。



八幡 レクリエーションの集い

子ども会実行委員による企画・運営でけいどろ、転がしドッジボール、段ボールキャタピラーなどを小学1年生から中学2年生まで楽しみました。



石谷 餅つき

あいご会のお楽しみ会に参加しました。一番心に残っていることはもちつきです。きねがすごく重くてつけるかなと思ったけどじょうずにつくことができました。おもちもおいしいでした。



松原 西郷どんの遠行

西郷隆盛の命日前の秋分の日、西郷さんの生まれた所や亡くなった洞窟など、西郷さんゆかりの史跡をめぐる行事です。伝統となっており、多くの単位あいご会が参加しています。

株式会社芙蓉商事からココチ基金20万円

令和6年6月6日(木) 株式会社芙蓉商事の社長湯ノ口隆洋氏と総務課長中尾直貴さんが事務所に来られ、あいご会連合会にココチ基金20万円の助成金を寄贈してくださいました。

ココチ基金とは従業員の毎月の給与と賞与から100円未満の端数を寄付いただき、集まったお金を福祉、文化、教育、自然環境等の中から地元に着目した活動をしている団体に助成し、有効に役立てようと始まったものです。

収入予算が減少しているあいご会連合会としては大変ありがたいことで、今年度行う「あいご会公式キャラクター募集事業」等に有効に使っていきます。芙蓉商事の従業員の皆様ありがとうございます。



問い合わせ・ご意見送付先

〒892-0816 鹿児島市山下町5-9
鹿児島市あいご会連合会
TEL・FAX 099-226-6604
E-mail aigo@po3.synapse.ne.jp
ホームページ

あいご会宣言

「みんなが楽しむあいご会」をスローガンに掲げ4年目を迎えます。市内各地のあいご会それぞれに楽しい活動が展開されていることを嬉しく思います。リニューアルしたホームページに楽しい活動の様子を紹介できるようにしましたので、ぜひご覧ください。

今回のあいご会新報は「我が町のあいご会」こんな活動が、こんな人が、こんな場所が」を特集にいくつかのあいご会を紹介いたしました。市内にはまだまだ紹介したい活動や人物など多数あるかと思えます。多くの内容を紹介できるように皆様からの情報提供をお願いいたします。広報誌やホームページに掲載してほしい活動がありましたら、事務局まで写真や動画等を提供していただければありがたいです。

あいご会宣言

- ① 子どもの幸せを願うのは、自然の親心である。
- ② 隣近所仲よく助け合うのは、市民生活の根本である。
- ③ 次代をになう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である。

あいご会とは

- ① 鹿児島市に住んでいる全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。
- ② 子ども会の育成母体である。

市民憲章

わたしたち鹿児島市民は、みんな助け合って、子どもたちの幸福を守りましょう。

(昭和36年5月5日)

我が町のあいご会

～こんな活動が こんな人が こんな場所が～

鹿児島市内には79の校区あいご会、576の単位あいご会があります。それぞれの校区や町には川や山などの自然や伝統的な行事などがあり、あいご活動として展開されています。また、あいご会に長年関わっている人たちも市内にたくさんいらっしゃいます。「我が町のあいご会～こんな活動が、こんな場所が、こんな人が～」という特集を組みました。

花野 ホタルウォーキング



平成20年、校区体育部会の発案で花野川のホタルウォーキング大会が始まりました。「初めてホタルを見た」「ホタルは光を放つのに、なぜ手は温まらないのだろう」などの声を聞きながら、多いときは480名の楽しい行事でした。しかし、平成29年の大雨でカワニナが流され、ホタルが消え、令和3年まで中止となりました。ホタル池の管理人中間隆志さんがホタル養殖に尽力し、令和4年度から復活できました。令和6年5月の見学会には約60名が参加し、乱舞するホタルを見て、喜び合いました。今では校区外から見学に訪れる親子もおられます。現在は単位あいご会で行っていますが、校区全体で行えることを願っています。

【花野校区あいご会長 中野 則昭】



乱舞するホタル



ホタル池をめぐる子どもたち

向陽 中間棒踊り



校区に伝わる中間棒踊りはあいご子ども会活動でも活かされています。校区には広木虚無僧踊りと中間棒踊りがあり、中間地区あいご会では子ども会活動の中に中間棒踊りの体験活動を1987年から始めました。

郷土芸能は向陽に育つ子どもたちや校区民をつなげる力があります。中間棒踊り保存会の協力をいただき、子どもたちが校区に伝わる郷土芸能を踊ることで、ふるさと意識を持ち、健全に育ってくれることを願い、夏祭りや向陽フェスなど踊る機会を作り応援をしています。これが青少年の健全育成につながり、大人になり中間棒踊りの継承者としても育っています。

【向陽校区あいご会長 森田 眞一】



1987年当時の風景



2024年の練習

桜島 旧通学路を歩こう

桜島港近くの大正溶岩原内に桜洲小赤水地域児童用の旧通学路（幅1m約2km）がある。昭和3年から昭和30年まで使われていた。当時の苦労を思い起こし、溶岩原内の自然を観察する目的で、令和5年11月25日に桜島ブロック子ども会大会として旧通学路及び現在の溶岩なぎさ遊歩道のウォーキングを実施した。



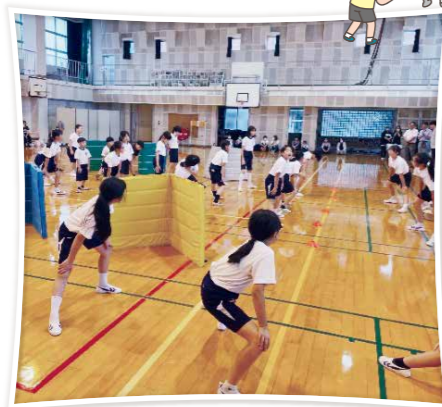
保護者を含め60名が参加、ほとんどが旧通学路の存在を知らず、初めて歩いたとのこと。途中、アナグマやウサギの大量の糞を発見したり、色づいたムベを見つけたりして、大喜びする参加者もいた。昔を知るいい機会となった。

【桜洲校区有志あいご会コーディネーター 萩原 貞信】

吉田 新聞紙雪合戦



昨年より、復活した吉田校区あいご会スポーツ大会。昨年の担当校の本城小学校さんの提案により、この「新聞紙雪合戦」が始まりました。今年は、学校対抗戦から、各校区混ざったチームで試合をすることで、他校区の児童同士でいっそう親睦を深めることができました。「新聞紙雪合戦」は児童に人気のあるドッジボールのルールと似ていることもあり、児童からも「楽しかった！来年も参加したい！」など大変好評です。また、保護者の方々からも「他の地区の児童とも楽しく交流することができる」という感想をいただきました。来年度以降も吉田地区の児童・生徒のコミュニティの場として、楽しいあいご会活動を続けていきます。



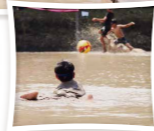
【牟礼岡校区あいご会コーディネーター 河野 佑太】

犬迫 子どもも大人もどろんこ遊び



犬迫校区は、鹿児島市の中心地から20分程の距離にありながら、緑豊かな田園が広がり、鳥や虫の鳴き声が聞こえ、色とりどりの花々が咲く「懐かしいふるさと」です。

「子どもたちを田んぼで思いっきり遊ばせてあげたい。」という目的で、荒蕪地域の有志『ついたち会』が中心となり、どろんこ遊びを実施。子どもたちが一番楽しみにしているイベントです。第10回目を迎える今年は晴天に恵まれ、田んぼに初めて足を入れる子どももいて、大きな歓声があがりました。同じ年頃のグループに分かれてしっぽとりゲーム、尻相撲、どろんこサッカー、つなひき、どろんこフラッグ。大人も一緒に泥だらけ。2台トラック2台にブルーシートで作った大きなお風呂に入った子どもたちは、実行委員会や地域の方がご厚意で準備してくださったお土産をたくさんもらって、今年も笑顔で帰りました。『また、来年も!!』豊かな自然と人の温かさに感謝です。



【犬迫校区あいご会長 池田 友紀】

福平 あいご駅伝大会



あいご会駅伝大会は伝統となっている行事で、コロナ禍でも感染対策を十分行い実施しました。令和5年度には第40回記念大会となりました。全町内会を駆け巡り、前半5つ、後半9つの14区間で争われます。小さい町内会は前半だけでも参加できるよう配慮しています。

沿道には町内会の選手を応援する人がいっぱいかけつけ、町内会の団結が見られます。過去には区間賞を設けるなど本格的でしたが、参加者が減少してきたため、参加しやすい大会に変更しました。例えば、中学生区間に小学生2名で参加できたり、年齢性別不問区間を設けたり工夫しています。危険箇所を事前に調査し大会に臨むため、これまで一度も事故はなく、道路使用許可もスムーズです。町内会の役員皆さんの皆さんにスタッフとして大会運営をしてもらっています。今後は子どもリーダーにも運営に参加させ、活躍の場を設けたい。



【福平校区あいご会長 外城戸 昭一】

我が町のこんな人

田上 脇重伸さん

田上校区あいご会コーディネーターの脇重伸さんは、10年以上あいご会のご意見番として活動されておられます。また、あいご会活動のみならず、公園の清掃活動や町内会活動、天神見守り隊での巡回パトロールなどにも積極的に参加され、さまざまな分野で活躍中です。田上を護るまさに「愛護」の精神に満ちあふれた方です。田上校区の文化祭では、奥様と二人で歌唱を披露するなど芸達者な一面もお持ちです。



コロナ禍以降、校区活動の進め方についていろいろ悩むことが多くなってきましたが、「心ひびきあい、きずな深まる田上校区」のスローガンのもと、子どもたちの思い出づくりやふるさとづくりのためにも、一緒に田上校区を盛り上げていきたいと思っています。

【田上校区あいご会長 徳永 真輔】

川上 春山 昭則さん

春山昭則さんは、岡之原町在住で、校区有志あいご会コーディネーターとして、今年で19年従事されています。町内会役員や伝統芸能保存会の活動にも従事されており、地元にも多大な貢献をされておられます。



あいご会活動において、役員は毎年交代されることが多いですが、長年継続して活動に従事される方がいらっしゃることは、活動を継続していくためにもとても重要なことだと思います。その意味で、とても貴重な存在であり、地域にとってなくてはならない大事な存在の人です。

少子化や超高齢化などで、あいご会活動は変化を求められる時代を迎えています。基本理念「地域全体で子どもたちを健全に育成する」に沿った活動となるよう、これからも助言・指導いただけることを期待しております。

【前川上校区あいご会長 奥村 龍一】